

2019年12月4日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

# じぶん銀行 日本サービス業PMI<sup>®</sup>

及び、じぶん銀行日本複合PMI<sup>®</sup>

## 日本のサービス業、11月の改善は小幅

### 主な動向

事業活動、10月の混乱から転じて増加

しかし微増にとどまり、新規事業も伸び悩む

購買コストが加速的に上昇したが、サービス単価の伸びは弱まる

最新調査によれば、消費増税と大型台風の影響を被った10月から好転して、11月の事業活動は増加した。しかし微増に過ぎず、回復の勢いは限定的だった。

新規事業も全体的に増加したが、勢いは10月をやや上回ったに過ぎず、現在40ヶ月に及ぶ連続増加期間の平均に届かなかった。とはいえ雇用動向は依然として好調で、引き続き増加が見られ、今後1年間の見通しは過去5ヶ月で最も強気だった。

じぶん銀行日本サービス業PMI<sup>®</sup>は IHS Markitがサービス業約400社からの調査回答をもとにまとめたものである。対象セクターには消費者サービス(小売以外)、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれる。

主要指数はサービス業事業活動指数で、事業活動量が前月比でどう変化したかを示す。数値が50を超えれば全体として前月比で増加したことを、50を割り込めば減少したことを意味する。

主要指数の季節調整済み事業活動指数は「変化なし」を表す50.0の水準を超え、11月に成長が回復したことを示した。しかし同指数は50.3で、事業活動の微増を示したに過ぎず、今年初めから第3四半期までの平均的勢いを大きく下回った。

調査対象企業によれば、10月の台風の影響への対応が続き事



業活動の妨げになったほか、需要状況の低迷を指摘したところもあった。最新調査データでは、日本のサービス業の新規事業は増加した。しかし勢いは全体的に小幅で、現在40ヶ月に及ぶ連続増加期間の平均より弱かった。11月は海外顧客の需要がほとんど伸びず、輸出は前月からほぼ横ばいだった。

台風の後も業務に支障が出たにも関わらず、受注残は10月からほぼ横ばいだった。調査対象企業は既存の需要圧力に対応することが可能だった。

しかし11月の日本のサービス業はいくつかの明るい材料も示し、雇用が引き続き増加した。雇用の増加は2017年1月から連続しており、今回の増加率は6月以降の最大値を2度目に記録した。

景況感も改善し過去5ヶ月で最も好調となった。今後12ヶ月についての強気の根拠としては、需要改善予想、東京オリンピック関連の追い風、新規顧客の獲得が挙げられた。

最後に、調査データは価格について異なる動向を示した。購買コストは11月に加速的勢いで上昇し、消費増税によるものとの報告が相次いだ。一方、サービス単価の伸びは、過去5年半で最大だった10月から縮小した。

## じぶん銀行 日本複合PMI®

### 民間セクターの生産高、11月もわずかに減少

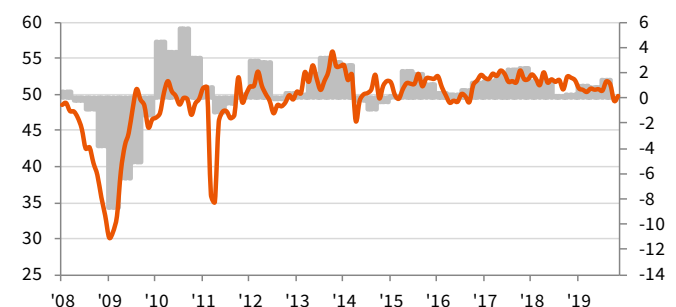
複合指標は製造業とサービス業それぞれの同等指標を加重平均したものである。加重値は、GDP公式データにもとづく製造業とサービス業の相対的規模を反映している。日本複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業事業活動指数の加重平均である。

11月のじぶん銀行日本複合生産高指数は「変化なし」を表す50.0の水準を2ヶ月連続で割り込んで49.8となり(10月は49.1)、民間セクターの生産高が引き続き減少したことを示した。ただし勢いは10月から弱まり、背景にはサービス業の事業活動の微増、および製造業生産高の減少の鈍化があった。

需要は民間セクター全体で引き続き弱く、複合新規受注が減少し、生産能力にかかる圧力の軽減が進んだ。しかし雇用は製造業とサービス業の両方で増加した。

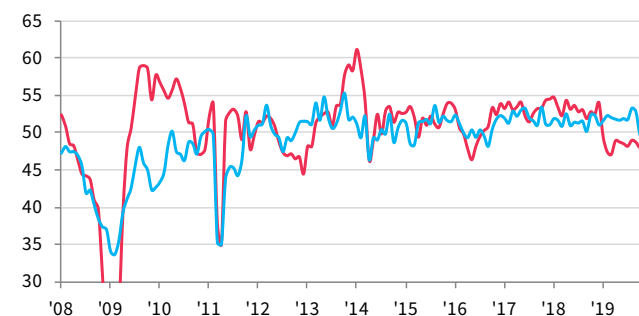
価格面では、購買コストが過去6ヶ月の最大幅で上昇したのに対し、製品価格は伸びが弱まった。

複合生産高指数  
季節調整済み、>50 = 前月比で増加



出典: じぶん銀行、IHS Markit、内閣府

製造業生産高指数  
サービス業事業活動指数  
季節調整済み、>50 = 前月比で増加



出典: じぶん銀行、IHS Markit

## コメント

当調査をまとめたIHS Markitエコノミスト、Joe Hayesによる日本サービスPMI調査データに関するコメント。

「11月のデータは日本経済にとってきわめて残念なものとなった。消費増税と台風の影響が目立った10月は解釈が難しく、11月の回復が期待されていた。しかし結局、その勢いは限定的で、事業活動の伸びはわずかにとどまった。

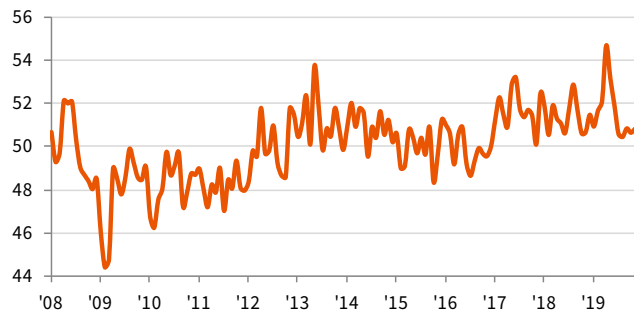
新規事業の増加も大きく加速せず、ここから、日本の民間セクターの基本的な

需要状況が第4四半期これまでのところ後退している様子が見えてくる。

2019年初以来サービス業は好調で、製造業の不振をよく補ってきた。しかし第4四半期の現時点での調査データを見る限り、年末にかけて景気が縮小する可能性が強まっているようだ。」

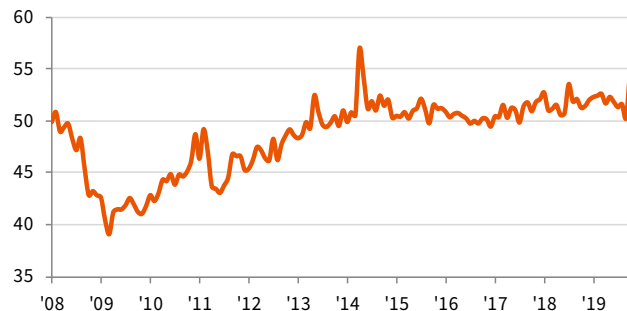
### サービス業雇用指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加



### サービス単価指数

季節調整済み、>50 = 前月比で上昇



## お問い合わせはこちらどうぞ

じぶん銀行  
Grp-S-M-IT@jibunbank.co.jp

Joe Hayes  
エコノミスト  
IHS Markit  
電話: +44 1491 461 006  
joseph.hayes@ihsmarkit.com

Bernard Aw  
プリンシパル・エコノミスト  
IHS Markit  
電話: +65 6922 4226  
bernard.aw@ihsmarkit.com

Katherine Smith  
パブリックリレーションズ  
IHS Markit  
T: +1-781-301-9311  
katherine.smith@ihsmarkit.com

### 調査方法

じぶん銀行日本サービス業PMI®は、IHS Markitがサービス業約400社からの調査回答をもとにまとめています。対象セクターには消費者サービス(小売以外)、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれます。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数はサービス業事業活動指数です。これは、事業活動量の前月比での変化についての回答から算出する拡散指数(ディフュージョン・インデックス)です。サービス業事業活動指数は製造業の生産高指数に匹敵します。「サービス業PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業事業活動指数の加重平均です。加重値は、GDP公式データに従った製造業とサービス業の相対的規模を反映したものとなっています。複合生産高指数は「複合PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調査要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2019年11月のデータ収集期間: 2019年11月12~26日。

PMI調査方法の詳細は、[economics@ihsmarkit.com](mailto:economics@ihsmarkit.com)へお問い合わせください。

### PMI(購買担当者指数)

購買担当者指数™(PMI)調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、[ihsmarkit.com/products/pmi.html](https://ihsmarkit.com/products/pmi.html)をご覧ください。

### 免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はIHS Markitに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、IHS Markitから事前の承諾がない限り認められません。IHS Markitとじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとらたけたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、IHS Markitとじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。Purchasing Managers' Index™およびPMIはMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。

### じぶん銀行について

2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専業銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、GoogleアシスタントやAmazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

### IHS Markitについて

IHS Markit(NYSE:INFO)は、世界の経済を促進する主要産業・市場のために必須情報・分析・ソリューションを提供するリーディングカンパニーです。次世代の情報・分析・ソリューションを企業、金融機関、各国政府に提供し、経営効率の改善および正しい情報にもとづいた意思決定のための洞察に役立てていただいております。企業・政府機関の顧客数は50,000を超え、ここにはFortune Global 500企業の80パーセントと世界の大手金融機関も含まれます。

IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。その他全ての社名及び製品名はその各々の所有者の商標である可能性がありますのでご注意ください。© 2019 IHS Markit Ltd. 禁無断転載。

IHS Markitのプレスリリースを受け取りたくない場合は、[joanna.vickers@ihsmarkit.com](mailto:joanna.vickers@ihsmarkit.com)へお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。